

緑の相談所だより

-第27号-

{4, 5月号 1994. 3. 31発行 編集:旭川市緑の相談所}

講習会のお知らせ

■果樹類の剪定, イチイの剪定

春芽出し前におこなう剪定の仕方

日時 4月10日(日)

午後1~3時

講師 旭川市緑の相談所
相談員 小島 博昭

■花壇の楽しみ方

春花壇から夏花壇への準備作業
(土づくり, 施肥, 花種, デザイン等)

日時 4月24日(日)

午後1~3時

講師 旭川市緑の相談所 公園緑地課
主査 佐々木 猛 氏

■楽しい家庭菜園

家庭で楽しめる野菜の土づくり,
肥料, 病虫害防除, 収穫までの
基本的な作業。

日時 5月8日(日)

午後1~3時

講師 旭川市園芸センター
所長 佐野 元雄 氏

■洋ラン, 夏にむけての管理

シンビジューム, ファレノブシス他

日時 5月22日(日)

午後1~3時

講師 旭川市緑の相談所
相談員 村田 正一

いずれも定員 50名 参加料 無料

◇◇◇お申し込み・お問い合わせは 旭川市緑の相談所 ☎65-5553◇◇◇

バスご利用の方は

電軌軌道バス82番緑が丘線南高行き(アサヒビル前発緑橋通側)上川神社前下車



季節の花 ことば アマリリス・・・誇り、内気、静寂

誰もが知っている小学唱歌の単純なメロディを、どんな花かも知らずに歌っている子供もいますが、実際には大きなユリに似た鮮やかな花です。

ヒガンバナ科の雑種性の多年草。

ヨーロッパの俗名でベラドンナ・リリーといい、“貴婦人の百合”の意。

おもしろコラム

～本 転写「縁起」勸業社～

「不老不死の薬」は昔からの人類の夢です。

中国のはるか西方の地に、西王母が住んでいて不死の薬を持っているという伝説がありました。

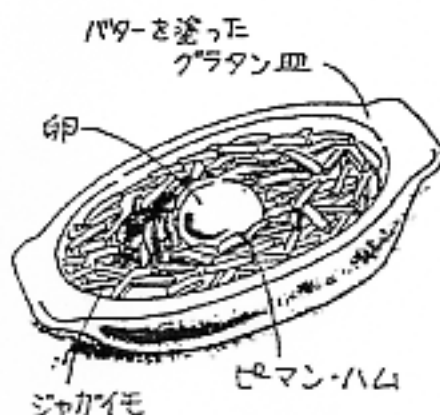
この西王母は、人の形をしていながら豹の尾と虎の歯を持ち、髪を振り乱しながら咆哮（ほうこう）するという化物のような存在です。

西王母のもとにある“不死の木”には数千年に一度花が咲き、実（桃の実という説）がなりますが、その実を食べれば死ぬことがないとされたのです。

後代には、西王母は化物から大変美しい仙女へと美化され、西方の崑崙（こんろん）という神山に住むということになりました。

また、不老長寿の薬は東方の海の彼方に長寿国があって、その国の人々は木槿（むくげ）のような木の白い花を食べるために、非常に長寿を楽しんでいるという伝説もありました。

秦の始皇帝は、不老不死の薬を手に入れようと、徐福らの一行を東方に派遣したほどです。



ヘルシータッピング

ジャガイモの果ごもり

◆材料(4人分)◆

ジャガイモ……………4～5個
ピーマン……………2～3個
ハム……………4枚
サラダ油・塩・こしょう……各適宜
卵……………4個
刻みパセリ……………少々

◆作り方◆

①ジャガイモは洗って皮をむき、芽をとり、せん切りにして水に放し、ざるに上げる。

②ピーマンは縦2つに切り、へた、種を取り除いてせん切りにする。ハムも3cm長さのせん切りに。

③サラダ油大さじ2を熱し、①を炒め、軽く塩少々をふり、取り出す。

④同様にサラダ油大さじ1を熱し、②のハム、ピーマンを順に炒め、塩・こしょう各少々をふる。

⑤サラダ油（またはバター）適宜を塗ったグラタン皿を4つ用意し、上図を参照して③、④を盛り分け、卵を割り落として、オープンまたはオーブントースターで焼く。卵が固まる程度に。

⑥刻みパセリをふって供す。

4月の園芸作業

◎花壇、野菜畑の雪解かしと整地

今年は雪解けが遅れそうです。なるべく早く解かしたいものです。雪の上に庭土や初殻燐炭、ピートモスなど日光を吸収するものを撒いておくと1週間くらいは早く解けます。

雪が消えたらなるべく早く土を起こします。かたまりのまま風と日光に1週間くらいさらして土を乾かし、地温の上昇をうながします。こうしておくとお虫や病気を少なくすることができます。その後、堆肥かピートモスをたっぷり加えて土をくずし整地します。

ホウレンソウ、トマト、エンドウなどを植える場所には種まき、植えつけの2週間くらい前に、石灰を散布して耕しておきましょう。

◎宿根草の手入れ

落ち葉、枯れた茎などを整理します。土が固くしまっていたら株のまわりをかるく掘り起こしてやりましょう。同時に株のまわりに油粕と骨粉を等量混ぜたものを30センチ四方に一握りくらい施してやります。鶏糞や化成肥料でもよろしいでしょう。ただし、ツツジ、シャクナゲには鶏糞は与えないことが大事です。

宿根草が大株になっていたら掘り上げて株分けしましょう。あまり小さく分けないことです。チューリップはすでに伸びはじめています。土の上に化成肥料を撒いてやるとよく育ち大きな花が咲きます。花の時期にもう一度肥料をやるとう球根が太ります。

冬の間楽しんだプリムラ・ポリアンサやプリムラ・ジュリアンは鉢からぬいて庭植えすることができます。半日陰になる所がいいでしょう。

◎クンシラン

2～3年ごとに4月下旬～5月上旬に植え替えしてやりましょう。

5月の園芸作業

サクラ前線が北上しています。暖かい日が多くなりますが、中旬ころまでは霜の恐れがありますから注意しましょう。

◎鉢物の植え替え

観葉植物や鉢花など、根詰まりしているものは植え替えの時期です。根土を三分の一くらいほぐして、一回り大きめの鉢に新しい土で植え替えます。深植えになると弱りますから元の表面がすっかり埋まらないようにしましょう。

土は鉢の深さの8分目くらいにします。山盛りに入れると水やりが面倒になります。

用土は、赤玉土に腐葉土を3分の一くらい混ぜたものが殆どの種類に使えます。

◎種まき

草花類のアスター、ジニア、キンセンカ、コスモスその他の一年草、宿根カスミソウ、セキチク、オダマキ、ノボリフジ、シャスターデージーなどの宿根草は花壇に直接蒔きます。

アサガオは発芽に高温が必要です。中旬ころ室内で種をまき、発芽したらすぐに一本ずつ鉢に植えてやります。腐葉土を3～4割くらい混ぜた土で植えるといいでしょう。

エンドウ、ジャガイモはは上旬、時なしダイコン、コカブ、ホウレンソウ、タイナ、ニンジンなどは中旬ころ、エダマメ、トウキビ、ササゲなどは下旬ころまくといいでしょう。

◎シャクナゲの芽摘み

シャクナゲの芽が伸びはじめたら、先端の芽を欠き取っておくとやがて数本の芽が伸びてきます。枝数が増えてこんもりとした姿になります。

◎花がら摘み

チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、クロッカスなど、花ごすぐに花首から摘み取って種をつけないようにします。

雪による被害木の手入れ

今年は雪が多く庭木類の管理は大変です。

庭先から雪が完全に消えるまでにはまだ数週間かかります。雪の多い年は、この時期にさまざまな被害にあいます。管理には十分注意を払い、次のような事柄に留意することが大切です。

△冬囲いの点検

越冬期間中に雪の重みで冬囲いが倒れたり折れたりすると、雪による被害につながります。出来るだけ早い時期に雪の中から掘り出し、雪による被害から守ってやるのが大切です。

又吊り縄がゆるんだり、はずれたりしているものは、見つけ次第吊りなおします。

△被害木の処置の仕方

①表皮あるいは木質部の途中で折れたものは、被害箇所が乾かない早い時期に折れた部分を元にもどし、ビニールテープで固定し更に副え木で固定する。

副え木をしても耐えられない状態のものは、枝を吊るか、台をつかって固定する。

②枝、あるいは幹が完全に折れてしまい、木本体から離れてしまったものは、枝本体の折れた部分と、折れてしまった枝の折損部分を削り、つなぎ合わせてビニールテープで固定し、さらに副え木で固定し枝を吊るか、台をつかって固定する。

①～②の手法はつき木の要領ですので、つき目の部分は形成層と形成層の接着、接合にならないと細胞のゆ合は不可能になります。

処置後は被害箇所が軽微なものは、秋までにビニールテープ、副え木などをはずしますが、太い枝、幹や脱落した枝、幹を処置したものは来春までそのまま置き状態を見てはすすか、巻きなおすことをきめます。

